

日ペルー外交関係樹立150周年記念式典

林外務大臣 ビデオメッセージ

(2023年8月21日(月))

- ブエナス・タルデス・ア・トドス。皆様こんばんは。
- 日本とペルーが外交関係を樹立してから本日で150年となることを大変嬉しく思います。日本とペルーは中南米で最も長い外交関係を有しており、価値と原則を共有する重要な「戦略的パートナー」です。
- 私は、この記念すべき今年の5月にペルーを訪問し、ヘルバシ外務大臣と会談を行いました。その際、ペルーとの二国間関係を一層強固なものにするとともに、国際場裡においても連携を強化したいとの、日本としての強い意志を示しました。
- 日本とペルーは、ウクライナを含む現在の厳しい国際情勢への対応や、安保理改革を含む国連の機能強化に向けて、緊密に連携していくことで一致しています。
- 日本とペルーはともに、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の実現に向けて協力しているとともに、ハイスタンダードなCPTPPをはじめとする自由開放主義的な経済政策を推進しています。日本は、来年APEC議長となるペルーと引き続き協力していきます。
- 経済や地経学の観点からも、鉱物・食料資源の世界的なサプライチェーンの強靱化実現に向けた重要なパートナーとしてのペルーの役割について期待しています。今後とも官民で協力して、幅広い経済関係を強化するために努力していきます。
- また、両国間の人的交流も、欠かすことのできない大事な要素です。ペルー日系人協会による最新の推計では、ペルーにおける日系社会は20万人以上存在することがわかりました。その存在は、約5万人の在日ペル一人とともに両国の友好関係の象徴となっています。

- さらに、私がペルーを訪問した本年5月、南米のスペイン語圏で初めてとなる国際交流基金の事務所をリマに開所しました。日本の文化・学術面での更なる交流強化の基盤となることを期待しています。
- また、150周年を機に、日本の方々が一層ペルーの遺産や料理を含む文化に親しめることを期待しています。世界的に評価されるペルーレストランの支店が日本にもオープンし、高く評価されています。
- これまで述べたように本年の外交関係樹立150周年をきっかけに、両国の強固な絆が一層深まることを期待し、挨拶を終えたいと思います。
- 本日の式典の成功をお祈りいたします。
- ムチャス・グラシアス！

(了)